

令和3年度 延岡市立名水小学校 学校評価書

《学校の教育目標》

たくましい心と体を持ち、創造性豊かで意欲的に考え実践する児童の育成

《学校経営ビジョン》

- (1) 目指す児童像を「自立貢献」とし、全教育活動の柱とする。
- (2) コンプライアンス精神を遵守し、全児童・全保護者に対して公平な教育活動を通じて、信頼される学校組織をめざす。
- (3) 延岡市及び名水地域の文化、慣習を尊重し、地域に根ざした教育の充実に努める。
- (4) 指導技術を高め、児童及び保護者の期待に応える学校教育活動を展開する。
- (5) 教職員間の相互信頼・責任を基本に、個人とチームワークの強みを最大限に高め、働き方改革を進める。

4段階評価

4・・・大変よい

3・・・概ねよい

2・・・もう少し改善を要する

1・・・大いに改善を要する

区分	項目	内容	自己評価			学校関係者の意見
			評価平均	成果(○) 課題(●)	改善策(・)	
基盤	学校経営ビジョン実現	自立貢献の取組(一人一人の個性を認め、よさを賞賛することで、自信と誇りがもてるようにする。)	3.1	○良い行動に対しては、褒めたりシールを貼ったりなどして賞賛した。 ○くり返し話していくことで、意識できている。 ●実践化を促す工夫が必要。	・個性についても継続して指導していきたい。	・中学進学までに生活や学習、部活動などについて、目標をもたせていくことが必要である。 ・上学年になると、リーダーシップをとる場面も多く、中学校生活に活かすことができている。
知	学力の向上	①OUTPUT 重視の授業改善 (INPUT) ②反復学習の徹底 (基本的な学習習慣の育成) ③データに基づく効果的指導の展開 ④全職員による組織的指導の充実 (TT や個別指導) ⑤評価と指導の一体化を図った授業の実践	3.1	○個別指導に関しては、養教に支援で入ってもらい、個別に学習に取り組むことができた。 ○児童の伝え合う活動を重視し、基礎基本の徹底を図った。 ●児童の実態をもとに授業実践を行ってきたが、データベースの客観性に一部欠けていた。 ○複式解消、個別指導の充実が図られている。 ○反復学習をすることができ、諦めずに取り組む姿勢が見られるようになった。 ○専科の活用や合同授業等で、組織的な取り組みができている。 ●評価を積極的に活かしたい。	・必要に応じてレディネステスト等を実施する。 ・単元末テスト等の授業づくりのための分析	・子ども教室で家庭学習の課題を全部終わらせようとする児童が多いが、家庭でも学習する習慣がしっかり身に付くと良い。 ・専科や外部講師など様々な人材が学校の授業に活用されており、充実している。さらに身近な地域の人材も活用すると良い。

徳	豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ①体験活動重視の教育活動の工夫 ②幼保小中連携を通じての継続的指導 ③読書教育の充実（図書室や移動図書館の活用） ④情操環境の充実（大きな歌声と美しい音楽） ⑤地域人材の活用（キャリア教育改善） ⑥人権教育の充実 ⑦いじめの未然防止、解決力の支援 ⑧時と場に応じた行動基本の徹底 	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育の一環で地域人材を活用したり、様々な職業に関する資料や動画をもとに話しを進めたりすることができた。 ●<u>読書教育の充実をはかることができず、個人差が大きかった。</u> ○外部講師を通じた授業も積極的に行っていた。 ●<u>ふくろう号の利用（本の返却等）について様子を見なければならない。</u> ○子ども教室は地域の協力のもとで、豊かな体験活動ができています。 ○子供同士のつながりが深く、仲良く学校生活を送っている。 ○低学年はあまり外部講師との関わりはなかったが、高学年が積極的に活動していた。 ○外部人材の協力により、視野を拓けていくことができています。 ●<u>さらなる外部人材についての情報収集が必要。</u> ○「地域人材の活用」今回は、様々な体験活動の工夫が見られた。 ●<u>「情操教育」大きな歌声の響く学校への取り組み不足。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>おすすめの本の紹介等を学級でも積極的にやっていく。</u> ・<u>図書館の方や家庭とも連絡を取りながら紛失の防止に努めた。</u> ・<u>地域人材の発掘やキャリア支援センターとの連携を深める。</u> ・<u>朝に「月の歌」を歌う時間がとれなかったと思われる。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>人が人を育てるという視点は、情報化が進んでも充実させなくてはならない。言葉かけやあいさつなど、ICT機器の画面では伝わらないものが多い。</u> ・<u>放課後子ども教室を通じて、児童間はもちろん、保護者と児童、保護者間のコミュニケーションも充実していくと良い。</u> ・<u>児童同士が仲の良い兄弟のようで、大きなトラブルもないが、中学へ進学して集団が変わると、戸惑う場面も出てくるのでは。</u> ・<u>昼休みには上級生がリーダーシップをとって遊んでいるようだが、放課後子ども教室では個々で遊ぶことが多くなってきた。</u>
体	体力の向上 健康な心と体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ①体育科での基礎体力作り（運動量の確保） ②「早寝・早起き・朝ご飯」の推進と徹底（生活リズムと基本的な生活習慣の育成） ③食育指導及び保健指導の充実と体育的行事の工夫 ④危機管理マネジメントの向上 	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ○体育科における運動量の確保は十分に達成することができた。 ●<u>生活リズムと基本的な生活習慣の育成が不十分である。</u> ●<u>ゲームの時間やきまり等については引き続き指導が必要である。</u> ○給食指導が充実していて、残菜なしはすばらしい。 ●<u>生活リズムが乱れ気味な家庭への支援をどうするか。</u> ○授業の初めに、走ったりスキップしたりする活動を毎回入れて運動量を確保した。 ○学習カードやチェックカードの活用で児童がめあてをもって活動できている。 ●<u>保護者へ食育や基本的な生活習慣の大切さを伝えていく必要がある。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>学級通信等を通じて、保護者に啓発していく。</u> ・<u>参観日等で啓発</u> ・<u>食育や生活習慣について、全校懇談や学校から</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ゲームなどのメディアで精神状態や生活習慣が乱れていくという実態もあるので、これからは、情報機器とのつきあい方が重要である。</u> ・<u>名水小の運動会は、児童の出番が多く、大変充実して楽しいものとなっている。</u> ・<u>ICT技術は進んでいるので、認めていかなくてもいけない面もあるが、健康上の問題（視力への影響など）について心配な面もあり、家庭でしっか</u>

				<ul style="list-style-type: none"> ●生活リズムの定着に課題が残る。特に睡眠（寝る時間） ●ゲームの時間については、学校保健委員会で取り組んだが、まだまだ家庭と協力して手立てをとることが必要。 	<p>の文書で啓発していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身を育てる（自立）ために、日記や生活のきまりの生活記録等の活用で、児童が計画を立てて児童自身で時計を見て動けるようにしていく。 ・ゲームの時間については、自分自身で決めて、実行する手立てを打つ。生活リズム同様、毎週評価までする。 	<p>り時間管理ができるようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに浸りきっている児童を見ると、将来どうなるのか心配になる。 ・習得するのに時間や努力を要する遊びに取り組まない傾向もあるので、学校や放課後子ども教室で様々な遊びに触れさせたい。
学校力	職員の指導力向上 働き方改革の推進 地域との連携	<p>教員の指導力を研磨 ①OJTの充実 ②「変わる」ことにつながる校外研修への参加 ③ICTの効果的な活用 ④メンタルヘルスの推進とコンプライアンスの徹底</p> <p>働き方改革の推進 ①職員発（スクラップ and ビルド）起案の重視 ②ペーパーレスの推進 ③会議・研修等の工夫及び見直し</p> <p>地域との連携（開かれた教育課程） ①名水小地域ふれあいネットワーク会議との連携 ②地域との情報共有</p>	3.2	<p>○教員の指導力向上のための研修を積極的に行ってきた。</p> <p>○働き方改革の推進のために、仕事の取組を早くしたり、職員で協力したりしてきた。</p> <p>●<u>児童・職員にとって本当に価値のある研修を行っているかを常に模索する必要がある。</u></p> <p>○GIGAスクールにより、ICT教育に関する研修に積極的に取り組めたと感じる。</p> <p>○職員1人1人がそれぞれの立場で研修を深めることにつながった。</p> <p>○ICTにより、かなり業務の効率化や情報の共有が進んでいる。</p> <p>●<u>行事の見直しを行い、さらに負担軽減を図る。</u></p> <p>○食育指導においては、低学年児童の食べ初めの時刻を他学年児童よりも早く設定したことで、給食の残菜なし。（時間はかかるが。）当番活動も2年生から行っている。コロナ禍で、黙食もしっかりと守られている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改善すべきものはどんどん変えていく。 ・行事計画の中で、必要のないものは思い切って省いたり変更したりしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で協力してほしいことがあれば、遠慮無く伝えて欲しい。 ・ICTに関する教育については、これからの社会の情勢を踏まえると、必要なものになってくる。 ・子ども教室のサポーターを募集し、取組をさらに充実していきたい。 ・家庭が児童の教育の大半を決めている。子育ては、家庭で責任をもって進めていかなくてはいけない。

※下線部は、今後の学校や家庭・地域の連携について重要な事柄になります。